

食品に関するリスクコミュニケーション
牛海綿状脳症(BSE)対策の見直しに係る
～我が国の検査対象月齢の引き上げについて～
大阪会場(平成25年4月25日)

参 加 者 数	89
アンケート回収数	59

問1 ご自身についてお聞きします。

①性別

回答内容	件数	割合
男性	43	72.9%
女性	16	27.1%
計	59	100.0%

②年齢

回答内容	件数	割合
～19歳	0	0.0%
20歳代	2	3.4%
30歳代	10	17.2%
40歳代	18	31.0%
50歳代	18	31.0%
60歳代	9	15.5%
70歳～	1	1.7%
計	58	100.0%

③職業

回答内容	件数	割合
1) 消費者団体	8	14.3%
2) 主婦、学生、無職	2	3.6%
3) 畜産関係生産者	0	0.0%
4) 水産関係生産者	0	0.0%
5) 3)・4)以外の生産者	0	0.0%
6) 食品関連事業者・団体	14	25.0%
7) マスコミ	0	0.0%
8) 行政	32	57.1%
9) 食品関連研究・教育機関	0	0.0%
10) その他	0	0.0%
計	56	100.0%

④意見交換会情報入手手段

回答内容	件数	割合
1) 食品安全委員会のホームページ	17	29.8%
2) 食品安全委員会からのご案内資料	7	12.3%
3) 食品安全委員会メールマガジン(e-マガジン)	12	21.1%
4) 関係団体からのご案内資料	14	24.6%
5) 知人からの紹介	3	5.3%
6) その他	4	7.0%
計	57	100.0%

⑤食品安全委員会が実施する意見交換会には、本日で何回

回答内容	件数	割合
1)はじめて	27	45.0%
2)2回目	15	25.0%
3)3回目	10	16.7%
4)4回目	1	1.7%
5)5回以上	7	11.7%
計	60	100.0%

問2 本日の意見交換会についてお聞きます。

①本日の意見交換会に参加された目的

回答内容	件数	割合
1)疑問に思うことがあったから	4	7.3%
2)経緯・内容について知りたかったから	32	58.2%
3)意見を提出するために情報を得たかった	1	1.8%
4)他の参加者の考えや意見を聞きたかった	14	25.5%
5)国が行うリスクコミュニケーションの取組について知りたい	4	7.3%
計	55	100.0%

②目的に対して、どの程度満足できるものでしたか

回答内容	件数	割合
1)十分満足	5	8.9%
2)ほぼ満足	39	69.6%
3)あまり満足できなかった	7	12.5%
4)全く満足できなかった	0	0.0%
5)どちらでもない	5	8.9%
計	56	100.0%

③満足できなかったと考える点

危険部位について大幅な緩和があるところ
急いで月齢を上げた理由がよくわからない。アメリカ産等がこの次に48か月齢にゆるめられるのは国内の生産者にどういきょうするのだろうかと考えた。TPPとの関係について不安が残る。
一般の消費者が、この内容を理解できるのか大変疑問である
質問したことに対する回答がなかった。
消費者側に立った意見が少ない
話が早くてわかりにくかった

④会の全体の印象

a.開催時期

回答内容	件数	割合
1)とても適切	8	14.8%
2)適切	44	81.5%
3)あまり適切でない	2	3.7%
4)全く適切でない	0	0.0%
計	54	100.0%

b.開催方法

回答内容	件数	割合
1)とても適切	8	14.5%
2)適切	43	78.2%
3)あまり適切でない	4	7.3%
4)全く適切でない	0	0.0%
計	55	100.0%

c.配布資料

回答内容	件数	割合
1)とてもわかりやすい	8	14.3%
2)わかりやすい	39	69.6%
3)わかりにくい	9	16.1%
4)全くわからなかった	0	0.0%
計	56	100.0%

d.講演内容

回答内容	件数	割合
1)とてもわかりやすい	7	12.5%
2)わかりやすい	40	71.4%
3)わかりにくい	9	16.1%
4)全くわからなかった	0	0.0%
計	56	100.0%

e.参加者との意見交換

回答内容	件数	割合
1)とてもわかりやすい	4	7.1%
2)わかりやすい	44	78.6%
3)わかりにくい	8	14.3%
4)全くわからなかった	0	0.0%
計	56	100.0%

f.意見交換会全体

回答内容	件数	割合
1)評価する	9	16.1%
2)おおむね評価する	42	75.0%
3)あまり評価しない	4	7.1%
4)全く評価しない	1	1.8%
計	56	100.0%

問3 意見交換会の内容について**①食品健康影響評価(案)について理解できました**

回答内容	件数	割合
1)よくわかった	13	24.1%
2)ほぼわかった	37	68.5%
3)わかりにくかった	4	7.4%
4)全くわからなかった	0	0.0%
計	54	100.0%

②食品健康影響評価(案)についての疑問が解消されましたか

回答内容	件数	割合
1) 十分解消された	14	25.0%
2) だいたい解消された	35	62.5%
3) まだ解消できていないところがある	7	12.5%
4) 全く解消されなかった	0	0.0%
計	56	100.0%

問4 参加前の疑問や質問は明確になりましたか。

回答内容	件数	割合
1) とても明確になった	5	9.6%
2) ほぼ明確になった	35	67.3%
3) 明確にはならなかった	7	13.5%
4) さらにわからなくなった	2	3.8%
5) 疑問に思うことや質問はなかった	3	5.8%
6) その他	0	0.0%
計	52	100.0%

問5 説明が足りなかった、もっと聞きたかった、もっと議論すべきだったことなどがありましたらお書きください。

卸売市場で買受人に対して枝肉に、BSE検査済みの証明を交付しておりますが、(現在全頭検査しているのに)今後48か月齢未満が検査されなくなると証明のあるものとなないものが混在することになるため、買受人が全頭検査を引き続き求める可能性があるため、(証明書を求める)しっかり広報等で48か月未満の検査不要を宣伝してほしい。

発言の時間が長い。質問者については途中で切るべき。

BSE発生時に比べ、消費者の関心が薄れている。安い輸入肉を歓迎する事業者と無関心な消費者にも食の安全の意識を持てるよう情報発信してほしい。

本日の説明でだいたい理解でき、団体に戻って資料に基づき詳しく説明いたします。

100%安全な食品はない。例えば、水でも塩でも過剰に撮れば死に至る。この点を消費者が理解、認識しなければ「リスク管理」の費用は際限がないだろう。

聞きたかったこと。・非定型BSEのメカニズムについてどこまで解明されていて、評価に反映しているか。・BSE検査の検出能力への考え方

検査

BSE検査の実際

所属する自治体では住民のアンケートを取る際にどのような考え方を持っている人がいるのか少しでも知れてよかったです。科学的根拠を説明するのはとても難しいです。とても講義内容も参考になります。

輸入月齢についても答申ができた際にはこのような機会を作ってほしいと思います。

SMRの除去→安全？スーパーマーケットでポスター等で告知してもらえるか。BSE検査中止→報道で大々的にアピールしてもらえるのか？